

# チャペル週報

No.10

2023.6.19～6.23

祭司は、「安心して行かれるがよい。主は、あなたたちの  
たどる旅路を見守っておられる」と答えた。

士師記 18章6節



ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター

## 心の痛みのわかる人に

安田 栄三

初めて教壇に立たせて頂いてから 43 年の月日が流れました。関学では 35 年間お世話になりましたが、前任校の松蔭高等学校での 8 年間は私の教師生活のスタートでした。授業に部活にクラスに、そして生徒の支援に、無我夢中で時には学校に泊まり込んで準備を重ねる、忙しい中にも充実した毎日でした。そんな時、1985 年の夏が訪れます。同い年のダンスの先生が、御巢鷹山の飛行機事故で帰らぬ人となったのです。生徒達からとても慕われていた先生で結婚式を控えておられました。あまりにも短すぎる人生、お父様はようやく対面できた娘にウェディングドレスをかけて茶毘に付したそうです。彼女は生徒達に囲まれて、もっと教員生活を過ごしたかったはずです。

28 年前の阪神淡路大震災、関学も大きな被害を受け、生徒達の安否を祈り避難所を回ったことは忘れられません。在学のお兄様が亡くなられたことは本当に辛い出来事でした。中学部修学旅行の一つの柱は長崎の平和学習です。被爆者の方の「原爆の後遺症で苦しむ妹は死ぬ勇気を選んだが、皆さんは何があっても生きる勇気を選んでほしい。平和の原点は人の痛みのわかること」この言葉が生徒の心を動かしました。人の痛みのわかる心、それは多くの苦難や苦しみを乗り越えてこそ、初めて自分のものになるような気がします。思いがけぬ災い、難病との闘い、辛かったこと、苦しかったことも、あの時があったから今の自分があると思える日が来ることを願います。

もっと生きたい、そう願って亡くなられた方の分まで、私たちは生きてゆかねばなりません。神様から愛されている皆さんが誰かに必要とされる日は必ず来ます。命は他の誰かを幸せにするために使うもの、私はそう信じています。神様は決して乗り越えられない試練をお与えにはなりません。生かされているという謙虚さと勇気と希望があれば、どんな困難が待ち受けようとも真っすぐに生きてゆけると思います。立ち止まっても良い、少しずつ前を向いてください。

43 年間の生徒達との出会いから、私は数え切れない宝物を頂きました。沢山の励まし、沢山の手紙、その全てを胸に、教壇を去る最後の一瞬まで生徒達と誠実に向き合いたいと思います。学生の皆様、若さは正義のために生きる最大の武器です。ご自分の選ばれた道を信じ歩んでください。

(中学部教諭)

## チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

6/19 月

神 説教学演習 A 全 容佑 (神学研究科 M1 年)  
経 李 相勲 (宣教師、経済学部准教授)  
人 大宮 有博 (法学部宗教主事)  
建 Eco-Habitat 関西学院  
聖和 竹内クラス ダッドレーチャペル

20 火

神 聖書研究会 “ポプラ”  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 心新たにーコロナ後の出発⑥ Timothy O. Benedict (宣教師、社会学部准教授)  
法 大宮 有博 (宗教主事)  
経 経済と人間⑥ 安岡 匡也 (経済学部教授)  
商 音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア  
国 李 善恵 (宣教師、人間福祉学部教授)  
理・工・生環 前川 裕 (宗教主事)  
総 高木 正臣 (日本キリスト教団 神戸北教会牧師)  
教 橋本 真紀 (教育学部教授)

21 水

神 聖歌隊の演奏による音楽礼拝  
社 心新たにーコロナ後の出発⑦ 立石 裕二 (社会学部教授)  
法 音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア  
商 井上 智 (宗教センター宗教主事)  
人 茨木 正志郎 (人間福祉学部准教授)  
国 橋本 祐樹 (神学部准教授)  
理・工・生環 関西学院室内合奏団  
教 村上 修平 (日本キリスト教団 長居教会牧師)

22 木

神 ヒューマンサービス支援室ボランティア活動支援センター  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 心新たにーコロナ後の出発⑧ 寺沢 拓敬 (社会学部准教授)  
法 上地 武 (日本キリスト教団 首里教会牧師)  
経 経済と人間⑦ 秋吉 史夫 (経済学部教授)  
商 木原 桂二 (宗教主事)  
人 石田 祐 (人間福祉学部教授)  
国 Chapel in English Janette McIntosh (宣教師、国際学部教授)  
総 中村 朱里 (公益財団法人 PHD 協会職員)  
聖和 岸本 朝予 (非常勤講師)

23 金

神 Chapel in English Janette McIntosh (宣教師、国際学部教授)  
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 世界難民の日 (6/20) を迎えて 清水 康子 (総合政策学部教授・元 UNHCR 職員)  
理・工・生環 千東 史和 (西宮クロスロード教会牧師)

---

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
6月23日(金) 国際学部のために 宮田 由紀夫(国際学部長)  
毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂とZoom併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へ  
①メールアドレス ②お名前 ③所属 ④関学との関係(学生等)をメールでお知らせください。

---

\*\*\*\*\*

●院長室から発信! ビデオメッセージ「風に思う」 配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信をしています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。



(月2回程度更新されます)

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門を入れて右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月30日(金) 関西学院ハンドベルクワイア

7月6日(木) 関西学院聖歌隊

7月7日(金) 関西学院バロックアンサンブル

7月14日(金) 関西学院交響楽団

場 所: 12時45分~13時15分

時 間: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催: 宗教センター・宗教音楽委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパス(1405教室)では、大学院授業期間中の月1回、原則第2木曜日にチャペルアワーを開催します。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

7月13日(木) 17:50~18:10 打樋 啓史(宗教総主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。

どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

6月25日(日) 10:00~11:00

●CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

郵送でのご送付先: 〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

●盲導犬育成のためご協力お願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●「チャペル週報」のバックナンバー(2005年以降)は下記で閲覧できます。

URL : <https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

**関西学院宗教センター**

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

